

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号 1.0 作成改訂日: 2016/06/01 前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Residual Protein Liberase Kit
製品番号 : 07758693001

供給者情報

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
住所 : 東京都港区芝2-6-1
1050014
電話番号 : 03-5443-5128
FAX番号 : 03-5443-5299
緊急連絡電話番号:
緊急連絡先: カスタマーサポートセンタ
ー
0120-600-152

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限 : 専門ユーザー向け。
担当部署 : 生産・物流・信頼性保証・薬事部門
クオリティーマネジメント部

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本製品は複数の構成試薬からなるキット製品です。危険有害性の要約にはキット製品としてのGHS分類結果を記載しています。各構成試薬成分の情報は組成及び成分情報を参照ください。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激。
H332 吸入すると有害。
H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H371 臓器（呼吸器系）の障害のおそれ

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（呼吸器系）の障害のおそれ

注意書き

:

安全対策:

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- P264 取扱後は皮膚をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P284 (換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。

応急措置:

- P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
- P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管:

- P405 施錠して保管すること。

廃棄:

- P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

Buffer for ELISA / Incubation buffer

化学物質・混合物の区別 : 混合物

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
フェノール	108-95-2	< 0.1	3-481

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

Conjugate Dilution buffer

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

Biotin conjugate

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
フェノール	108-95-2	< 0.1	3-481

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

Dig conjugate

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
フェノール	108-95-2	< 0.1	3-481

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

Washing Buffer (10x)

化学物質・混合物の区別 : 混合物

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸 (C7~23) エスエル	9005-64-5	>= 1 - < 10	8-55

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

Dig POD conjugate

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid	57-50-1	>= 40 - < 50	
エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物	6381-92-6	>= 1 - < 10	2-1265
Iron(II) sulfate heptahydrate	7782-63-0	>= 1 - < 10	1-359

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

TMB substrate solution

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
メタノール	67-56-1	>= 0.1 - < 1	2-201

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

Stop reagent

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
硫酸	7664-93-9	>= 1 - < 10	1-430

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

Standard A-F

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid	57-50-1	>= 50 - < 60	
クエン酸	77-92-9	>= 30 - < 40	2-1318
1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone	822-89-9	>= 1 - < 10	
2-Methyl-4-isothiazolin-3-on, hydrochloride	26172-54-3	>= 1 - < 10	

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

Control X-Y

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid	57-50-1	>= 50 - < 60	
クエン酸	77-92-9	>= 30 - < 40	2-1318
1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone	822-89-9	>= 1 - < 10	
2-Methyl-4-isothiazolin-3-on, hydrochloride	26172-54-3	>= 1 - < 10	

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

Microtiter plate

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

4. 応急措置

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

-
- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
新鮮な空気のある場所に移動する。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすいでください。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。
気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
直ちに被災者を病院に連れて行く。
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護 : 保護具を使用する。
-

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

- 具及び緊急時措置 十分な換気を確保する。
項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱い注意事項 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : エアゾールの発生を避けること。
蒸気/粉塵を吸い込まない。
曝露を避ける—使用前に特別指示を受ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
作業室の換気や排気を十分に行う。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。
- 接触回避 : 強酸化剤
- 衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

8. ばく露防止及び保護措置

Buffer for ELISA / Incubation buffer

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
フェノール	108-95-2	OEL-M	5 ppm 19 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

				度)
	詳細情報: 第3群: ヒトに対する生殖毒性の疑いがある物質, 経皮吸収			
		TWA	5 ppm	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
フェノール, 石炭酸, ヒドロキシベンゼン	108-95-2	総フェノール (遊離体, グルクロン酸抱合体, 硫酸抱合体)	尿	作業終了時	250 mg/g-Cr	日本産業衛生学会
		Phenol	Urine	End of shift (As soon as possible after exposure ceases)	250 mg/g Creatinine	ACGIH BEI

Conjugate Dilution buffer

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

Biotin conjugate

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
フェノール	108-95-2	OEL-M	5 ppm 19 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 第3群: ヒトに対する生殖毒性の疑いがある物質, 経皮吸収			
		TWA	5 ppm	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
フェノール, 石炭酸, ヒドロキシベンゼン	108-95-2	総フェノール (遊離体, グルクロン酸抱合体, 硫酸抱合体)	尿	作業終了時	250 mg/g-Cr	日本産業衛生学会
		Phenol	Urine	End of shift (As soon as	250 mg/g Creatinine	ACGIH BEI

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

				possible after exposure ceases)		
--	--	--	--	---------------------------------	--	--

Dig conjugate

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
フェノール	108-95-2	OEL-M	5 ppm 19 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第 3 群: ヒトに対する生殖毒性の疑いがある物質, 経皮吸収				
		TWA	5 ppm	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
フェノール, 石炭酸, ヒドロキシベンゼン	108-95-2	総フェノール (遊離体, グルクロン酸抱合体, 硫酸抱合体)	尿	作業終了時	250 mg/g-Cr	日本産業衛生学会
		Phenol	Urine	End of shift (As soon as possible after exposure ceases)	250 mg/g Creatinine	ACGIH BEI

Washing Buffer (10x)

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

Dig POD conjugate

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
.alpha.-D-Glucopyranoside, .beta.-D-fructofuranosyl	57-50-1	TWA	10 mg/m ³	ACGIH
Iron(II) sulfate heptahydrate	7782-63-0	TWA	1 mg/m ³ (Iron)	ACGIH

TMB substrate solution

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
----	--------	-----------	-------------	----

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

メタノール	67-56-1	態) ACL	度 200 ppm	安衛法 (管理 濃度)
		OEL-M	200 ppm 260 mg/m3	日本産業衛生 学会 (許容濃 度)
詳細情報: 第 2 群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断 される物質, 経皮吸収				
		TWA	200 ppm	ACGIH
		STEL	250 ppm	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的 試料	試料採取 時期	許容濃度	出典
メタノール	67-56-1	メタノール	尿	作業終了 時	20 mg/l	日本産業 衛生学会
		Methanol	Urine	End of shift (As soon as possible after exposure ceases)	15 mg/l	ACGIH BEI

Stop reagent

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形 態)	管理濃度 / 許容濃 度	出典
硫酸	7664-93-9	OEL-C	1 mg/m3	日本産業衛生 学会 (許容濃 度)
		TWA (Thoracic fraction)	0.2 mg/m3	ACGIH

Standard A-F

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形 態)	管理濃度 / 許容濃 度	出典
.alpha.-D- Glucopyranoside, .beta.-D- fructofuranosyl	57-50-1	TWA	10 mg/m3	ACGIH

Control X-Y

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形 態)	管理濃度 / 許容濃 度	出典
.alpha.-D- Glucopyranoside, .beta.-D-	57-50-1	TWA	10 mg/m3	ACGIH

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

fructofuranosyl

Microtiter plate

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : データなし

保護具

呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

手の保護具

材質 : 保護手袋

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU指令89/686/EECの仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

Buffer for ELISA / Incubation buffer

外観 : 液体

色 : 無色

臭い : なし

臭いのしきい(閾)値 : データなし

pH : 7.3 - 7.5 (25 ° C)

融点・凝固点 : データなし

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

沸点／沸点範囲	: データなし
引火点	: 火花無し
蒸発速度	: データなし
可燃性（液体）	: 燃焼を持続しない。 この製品は GHS 分類の可燃性ではない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重（密度）	: データなし
密度	: 1.03 g/cm ³
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度（粘性率）	
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS 分類の酸化性には分類されない。

Conjugate Dilution buffer

外観	: 液体
色	: 無色
臭い	: なし
臭いのしきい(閾)値	: データなし

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

pH	:	7.6
融点・凝固点	:	データなし
沸点／沸点範囲	:	データなし
引火点	:	火花無し
蒸発速度	:	データなし
燃焼性（固体、気体）	:	燃焼を持続しない。
可燃性（液体）	:	この製品は GHS 分類の可燃性ではない。
爆発範囲の上限	:	データなし
爆発範囲の下限	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
蒸気密度	:	データなし
比重（密度）	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
粘度(粘性率)		
粘度	:	データなし
動粘度	:	データなし
酸化特性	:	この製品は、GHS 分類の酸化性には分類されない。

Biotin conjugate

外観	:	液体
色	:	データなし
臭い	:	データなし

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

臭いのしきい(閾)値	: データなし
pH	: 7.4
融点・凝固点	: データなし
沸点/沸点範囲	: データなし
引火点	: 火花無し
蒸発速度	: データなし
燃焼性 (固体、気体)	: 燃焼を持続しない。
可燃性 (液体)	: 燃焼を持続しない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重 (密度)	: データなし
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS 分類の酸化性には分類されない。

Dig conjugate

外観	: 液体
色	: データなし

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

臭い	: データなし
臭いのしきい(閾)値	: データなし
pH	: 7.4
融点・凝固点	: データなし
沸点/沸点範囲	: データなし
引火点	: 火花無し
蒸発速度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: 燃焼を持続しない。
可燃性(液体)	: 燃焼を持続しない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重(密度)	: データなし
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS 分類の酸化性には分類されない。

Washing Buffer (10x)

外観 : 液体

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

色	: 無色
臭い	: なし
臭いのしきい(閾)値	: データなし
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点/沸点範囲	: データなし
引火点	: データなし
蒸発速度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: この製品は GHS 分類の可燃性ではない。
可燃性(液体)	: 燃焼を持続しない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重(密度)	: データなし
密度	: 1.068 g/cm ³
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	
粘度	: データなし
動粘度	: データなし

Dig POD conjugate

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

外観	:	(高減圧下での凍結乾燥)
色	:	淡茶色
臭い	:	非該当
臭いのしきい(閾)値	:	非該当
pH	:	7.4
融点・凝固点	:	データなし
沸点/沸点範囲	:	データなし
引火点	:	火花無し
蒸発速度	:	データなし
燃焼性(固体、気体)	:	燃焼を持続しない。
可燃性(液体)	:	燃焼を持続しない。
爆発範囲の上限	:	データなし
爆発範囲の下限	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
蒸気密度	:	非該当
比重(密度)	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	可溶性
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
粘度(粘性率)		
粘度	:	非該当
動粘度	:	非該当

TMB substrate solution

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

外観	: 液体
色	: 淡青色
臭い	: 極めて僅か
臭いのしきい(閾)値	: データなし
pH	: 5.0 - 5.5 (25 ° C)
融点・凝固点	: < 0 ° C
沸点/沸点範囲	: > 100 ° C
引火点	: データなし
蒸発速度	: データなし
可燃性 (液体)	: この製品は GHS 分類の可燃性ではない。 燃焼を持続しない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重 (密度)	: データなし
密度	: 1.05 g/cm ³
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS 分類の酸化性には分類されない。

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

Stop reagent

外観	: 液体
色	: 無色
臭い	: 極めて僅か
臭いのしきい(閾)値	: データなし
pH	: < 1.0
融点・凝固点	: データなし
沸点/沸点範囲	: データなし
引火点	: 火花無し
蒸発速度	: データなし
可燃性(液体)	: 燃焼を持続しない。
	この製品は GHS 分類の可燃性ではない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重(密度)	: データなし
密度	: 1.0 g/cm ³
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	
粘度	: データなし

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

動粘度 : データなし
酸化特性 : この製品は、GHS 分類の酸化性には分類されない。

Standard A-F

外観 : 固体, (高減圧下での凍結乾燥)
色 : 白色
臭い : なし
臭いのしきい(閾)値 : 非該当
pH : 5.0
(水溶液として)
融点・凝固点 : データなし
沸点/沸点範囲 : データなし
引火点 : 火花無し
蒸発速度 : データなし
燃焼性(固体、気体) : 燃焼を持続する。
可燃性(液体) : 燃焼を持続する。
爆発範囲の上限 : データなし
爆発範囲の下限 : データなし
蒸気圧 : データなし
蒸気密度 : 非該当
比重(密度) : データなし
溶解度
水溶性 : 可溶性
溶媒に対する溶解性 : データなし
n-オクタノール/水分配係数 : データなし
自然発火温度 : データなし
分解温度 : データなし

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

粘度(粘性率)	
粘度	: 非該当
動粘度	: 非該当
酸化特性	: この製品は、GHS 分類の酸化性には分類されない。

Control X-Y

外観	: 固体, (高減圧下での凍結乾燥)
色	: 白色
臭い	: なし
臭いのしきい(閾)値	: 非該当
pH	: 5.0 (水溶液として)
融点・凝固点	: データなし
沸点/沸点範囲	: データなし
引火点	: 火花無し
蒸発速度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: 燃焼を持続する。
可燃性(液体)	: 燃焼を持続する。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: 非該当
比重(密度)	: データなし
溶解度	
水溶性	: 可溶性
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

分解温度	: データなし
粘度(粘性率) 粘度	: 非該当
動粘度	: 非該当

Microtiter plate

外観	: 固体
色	: データなし
臭い	: 非該当
臭いのしきい(閾)値	: 非該当
pH	: 非該当
融点・凝固点	: データなし
沸点/沸点範囲	: データなし
引火点	: 火花無し
蒸発速度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: 燃焼を持続する。
可燃性(液体)	: 燃焼を持続する。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: 非該当
比重(密度)	: データなし
溶解度 水溶性	: 不溶
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

分解温度	: データなし
粘度(粘性率) 粘度	: 非該当
動粘度	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	: 湿気への暴露。
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

11. 有害性情報

Buffer for ELISA / Incubation buffer

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

急性毒性 (経口)	: LD50 経口 (ラット): 317 mg/kg LD50 経口 (マウス): 270 mg/kg
急性毒性 (吸入)	: LC50 (ラット): 0.9 mg/l 曝露時間: 8 h 試験環境: ダスト/噴霧
急性毒性 (経皮)	: LD50 経皮 (ラット): 669 mg/kg LD50 経皮 (ウサギ): 630 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

結果: 眼に重傷のおそれ。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: In vitro 試験で、突然変異誘発性が示された

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 試験で、突然変異誘発性が示された

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

備考: この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

アセスメント: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

成分:

フェノール:

備考: 過剰ばく露により、めまい、頭痛、疲労感、吐き気、意識不明、呼吸停止等の症状が起こる。

Conjugate Dilution buffer

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

Biotin conjugate

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

成分:

フェノール:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 317 mg/kg

LD50 経口 (マウス): 270 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 0.9 mg/l

曝露時間: 8 h

試験環境: ダスト/噴霧

急性毒性 (経皮) : LD50 経皮 (ラット): 669 mg/kg

LD50 経皮 (ウサギ): 630 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

結果: 眼に重傷のおそれ。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: In vitro 試験で、突然変異誘発性が示された

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 試験で、突然変異誘発性が示された

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

成分:

フェノール:

備考: この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性がある、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

アセスメント: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

成分:

フェノール:

備考: 過剰ばく露により、めまい、頭痛、疲労感、吐き気、意識不明、呼吸停止等の症状が起こる。

Dig conjugate

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 317 mg/kg

LD50 経口 (マウス): 270 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 0.9 mg/l

曝露時間: 8 h

試験環境: ダスト/噴霧

急性毒性 (経皮) : LD50 経皮 (ラット): 669 mg/kg

LD50 経皮 (ウサギ): 630 mg/kg

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

結果: 眼に重傷のおそれ。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: In vitro 試験で、突然変異誘発性が示された

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 試験で、突然変異誘発性が示された

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

備考: この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

フェノール:

アセスメント: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

成分:

フェノール:

備考: 過剰ばく露により、めまい、頭痛、疲労感、吐き気、意識不明、呼吸停止等の症状が起こる。

Washing Buffer (10x)

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸 (C7~23) エスエル:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 38,900 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸 (C7~23) エスエル:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
結果: 陰性

生殖細胞変異原性 - アセスメント : 細菌または哺乳類培養細胞での試験では遺伝子の突然変異効果は発現しなかった。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

Dig POD conjugate

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopyranosid:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 29,700 mg/kg

LD50 経口 (マウス): 14,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : 急性毒性推定値: > 30 mg/l
方法: 専門家の判断

急性毒性 (経皮) : 急性毒性推定値: > 5,001 mg/kg
方法: 専門家の判断

エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): > 2,000 mg/kg
被験物質: 無水物質

LD50 経口 (ウサギ): 2,300 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 1 - 5 mg/l
曝露時間: 6 h
試験環境: ダスト/噴霧
方法: OECD 試験ガイドライン 403
被験物質: 無水物質

急性毒性推定値: 1.5 mg/l
試験環境: ダスト/噴霧
方法: 専門家の判断

Iron(II) sulfate heptahydrate:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 319 mg/kg

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

Iron(II) sulfate heptahydrate:

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

Iron(II) sulfate heptahydrate:

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験

備考: In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopyranosid:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

Iron(II) sulfate heptahydrate:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

データなし

Iron(II) sulfate heptahydrate:

データなし

詳細情報

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

備考: 通常の使用条件下では健康を損ねることが知られておらず、予想もされない。

TMB substrate solution

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

メタノール:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (マウス): 7,300 mg/kg

LD50 経口 (ラット): 5,628 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 85.26 mg/l
曝露時間: 4 h

LC50 (ラット): 64000 ppm

曝露時間: 4 h

試験環境: 蒸気

急性毒性 (経皮) : LD50 経皮 (ウサギ): 15,800 mg/kg

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

メタノール:

備考: この製品は、皮膚に吸収される可能性がある。
皮膚を刺激することがある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

メタノール:

備考: 眼に触れると刺激がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

メタノール:

種: モルモット

結果: 動物実験では感作性なし。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

メタノール:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 結果: 陰性

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

成分:

メタノール:

標的臓器: 眼

アセスメント: 臓器の障害。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

メタノール:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

メタノール:

吸引性呼吸器有害性には分類されていない

Stop reagent

急性毒性

吸入すると有害。

成分:

硫酸:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 2,140 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 0.51 mg/l
曝露時間: 2 h

LC50 (マウス): 0.32 mg/l
曝露時間: 2 h

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

成分:

硫酸:

結果: 眼に重傷のおそれ。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

硫酸:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
結果: 陰性
備考: In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

長期にわたる, 又は反復ばく露により臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

Standard A-F

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 29,700 mg/kg

LD50 経口 (マウス): 14,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : 急性毒性推定値: > 30 mg/l
方法: 専門家の判断

急性毒性 (経皮) : 急性毒性推定値: > 5,001 mg/kg
方法: 専門家の判断

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

クエン酸:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): > 6,730 mg/kg
LD50 経口 (ウサギ): > 7,000 mg/kg
LD50 経口 (マウス): 5,400 mg/kg

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 1,765 mg/kg
急性毒性 (経皮) : LD50 経皮 (ラット): > 2,000 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

成分:

クエン酸:

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

2-Methyl-4-isothiazolin-3-on, hydrochloride:

結果: 火傷を起します。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

成分:

クエン酸:

結果: 眼に刺激性。

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

結果: 眼に刺激性。

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

呼吸器感作性

吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

成分:

2-Methyl-4-isothiazolin-3-on, hydrochloride:

アセスメント: 皮膚に触れると感作を起すことがある。

アセスメント: 吸入による感作発生の可能性。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

暴露の主経路: 吸入

アセスメント: 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

データなし

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

詳細情報

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

備考: 通常の使用条件下では健康を損ねることが知られておらず、予想もされない。

Control X-Y

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 29,700 mg/kg

LD50 経口 (マウス): 14,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : 急性毒性推定値: > 30 mg/l
方法: 専門家の判断

急性毒性 (経皮) : 急性毒性推定値: > 5,001 mg/kg
方法: 専門家の判断

クエン酸:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): > 6,730 mg/kg

LD50 経口 (ウサギ): > 7,000 mg/kg

LD50 経口 (マウス): 5,400 mg/kg

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 1,765 mg/kg

急性毒性 (経皮) : LD50 経皮 (ラット): > 2,000 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

成分:

クエン酸:

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

2-Methyl-4-isothiazolin-3-on, hydrochloride:

結果: 火傷を起します。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

成分:

クエン酸:

結果: 眼に刺激性。

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

結果: 眼に刺激性。

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

呼吸器感作性

吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

成分:

2-Methyl-4-isothiazolin-3-on, hydrochloride:

アセスメント: 皮膚に触れると感作を起すことがある。

アセスメント: 吸入による感作発生の可能性。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

暴露の主経路: 吸入

アセスメント: 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

データなし

詳細情報

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

備考: 通常の使用条件下では健康を損ねることが知られておらず、予想もされない。

Microtiter plate

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

12. 環境影響情報

Buffer for ELISA / Incubation buffer

生態毒性

成分:

フェノール:

魚毒性

: LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 1.75 mg/l
曝露時間: 96 h

LC50 (Carassius auratus (金魚)): 46 mg/l
曝露時間: 24 h

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 5 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 12 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 24 h

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 10 mg/l
曝露時間: 48 h

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4.2 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性

: IC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 150 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

EC50 (Chlorella vulgaris (淡水藻)): 370 mg/l
曝露時間: 96 h

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

細菌に対する毒性 : (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 64 mg/l

環境毒性アセスメント

水生環境有害性(急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性(長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

成分:

フェノール:

生分解性 : 生分解: 96 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 302
備考: この製品の生分解性テストの結果によれば、すぐに生分解すると考えられます。

生化学的酸素要求量 (BOD) : 1,680 mg/g
インキュベーション時間: 5 d

化学的酸素要求量 (COD) : 2,300 mg/g

汚泥処理に対するインパクト : この製品は、前処理（生物学的処理場）なしに水中に放出してはならない。

生体蓄積性

成分:

フェノール:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 1.46

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

Conjugate Dilution buffer

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

Biotin conjugate

生態毒性

成分:

フェノール:

魚毒性

: LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 1.75 mg/l
曝露時間: 96 h

LC50 (Carassius auratus (金魚)): 46 mg/l
曝露時間: 24 h

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 5 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 12 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 24 h

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 10 mg/l
曝露時間: 48 h

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4.2 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性

: IC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 150 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

EC50 (Chlorella vulgaris (淡水藻)): 370 mg/l
曝露時間: 96 h

細菌に対する毒性

: (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 64 mg/l

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

環境毒性アセスメント

- 水生環境有害性(急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。
- 水生環境有害性(長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。
- 土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。
- 環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

成分:

フェノール:

- 生分解性 : 生分解: 96 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 302
備考: この製品の生分解性テストの結果によれば、すぐに生分解すると考えられます。
- 生化学的酸素要求量 (BOD) : 1,680 mg/g
インキュベーション時間: 5 d
- 化学的酸素要求量 (COD) : 2,300 mg/g
- 汚泥処理に対するインパクト : この製品は、前処理（生物学的処理場）なしに水中に放出してはならない。

生体蓄積性

成分:

フェノール:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 1.46

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

Dig conjugate

生態毒性

成分:

フェノール:

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

- 魚毒性 : LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 1.75 mg/l
曝露時間: 96 h
- LC50 (Carassius auratus (金魚)): 46 mg/l
曝露時間: 24 h
- LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 5 mg/l
曝露時間: 96 h
- ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 12 mg/l
曝露時間: 24 h
- EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 10 mg/l
曝露時間: 48 h
- EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4.2 mg/l
曝露時間: 48 h
- 藻類に対する毒性 : IC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 150 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
- EC50 (Chlorella vulgaris (淡水藻)): 370 mg/l
曝露時間: 96 h
- 細菌に対する毒性 : (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 64 mg/l
- 環境毒性アセスメント**
- 水生環境有害性(急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。
- 水生環境有害性(長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。
- 土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。
- 環境に関係する他の生物 : データなし
- 残留性・分解性**
- 成分:**
- フェノール:**
- 生分解性 : 生分解: 96 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 302
備考: この製品の生分解性テストの結果によれば、すぐに生分解すると考えられます。
- 生化学的酸素要求量 (BOD) : 1,680 mg/g
インキュベーション時間: 5 d

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

化学的酸素要求量 (COD) : 2,300 mg/g

汚泥処理に対するインパクト : この製品は、前処理（生物学的処理場）なしに水中に放出してはならない。

生体蓄積性

成分:

フェノール:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 1.46

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

Washing Buffer (10x)

生態毒性

成分:

ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸 (C7~23) エスエル:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 216 mg/l
曝露時間: 96 h

LC50 (Brachydanio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 該当

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 10 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 10 mg/l
曝露時間: 48 h

細菌に対する毒性 : EC50 (バクテリア): 146 - 774 mg/l
曝露時間: 0.08 h

残留性・分解性

成分:

ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸 (C7~23) エスエル:

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

生分解性 : 結果: 生分解性
生分解: 97.2 %
試験期間: 5 d

生分解: 60.3 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301F
GLP: 該当

生体蓄積性

成分:

ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸 (C7~23) エスエル:
n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

Dig POD conjugate

生態毒性

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

魚毒性 : LC50: > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

魚毒性 (慢性毒性) : > 1 mg/l

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 (長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物:

魚毒性 : LC50 (Poecilia reticulata (グッピー)): 約 320 mg/l
曝露時間: 96 h

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

被験物質: 無水物質

LC50 (Leuciscus idus (コイの一種)): > 500 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia (ミジンコ属)): > 100 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 24 h

藻類に対する毒性 : ErC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

細菌に対する毒性 : EC50 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 56
mg/l
曝露時間: 8 h
被験物質: 無水物質

環境毒性アセスメント

水生環境有害性(急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性(長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

Iron(II) sulfate heptahydrate:

魚毒性 : LC50 (Poecilia reticulata (グッピー)): 925 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 152 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

成分:

エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物:

生分解性 : 生分解: 3 %
試験期間: 30 d
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 4. C.
備考: 生物分解性試験結果によれば本製品は容易に生体内で分
解されない。

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

生化学的酸素要求量 (BOD) : 10 mg/g
インキュベーション時間: 5 d

生体蓄積性

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopyranosid:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: -3.67

エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし

Iron(II) sulfate heptahydrate:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

TMB substrate solution

生態毒性

成分:

メタノール:

魚毒性 : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギルサンフィッシュ)): 15,400 mg/l
曝露時間: 96 h

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 8,000 mg/l
曝露時間: 48 h

LC50 (Leuciscus idus (コイの一種)): > 10,000 mg/l

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 6,100 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性 : EC0 (Scenedesmus quadricauda (緑藻)): 8,000 mg/l
曝露時間: 7 d

細菌に対する毒性 : (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 6,600 mg/l

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

曝露時間: 16 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

成分:

メタノール:

生分解性 : 結果: 易分解性
生分解: 99 %
曝露時間: 30 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301

生化学的酸素要求量 (BOD) : 生化学的酸素要求 (量)
600 - 1,120 mg/g
インキュベーション時間: 5 d

化学的酸素要求量 (COD) : 1,420 mg/g

ThOD : 1,500 mg/g

BOD/ThOD : 76 %

生体蓄積性

成分:

メタノール:

生体蓄積性 : 備考: 生物濃縮されない。

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: -0.7

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

Stop reagent

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

生態毒性

成分:

硫酸:

魚毒性 : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギルサンフィッシュ)): 25 mg/l
曝露時間: 24 h

LC50 (Gambusia affinis (カダヤシ)): 42 mg/l
曝露時間: 96 h

LC0 (魚): 6.3 mg/l
曝露時間: 24 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 29 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 24 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

成分:

硫酸:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

Standard A-F

生態毒性

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopyranosid:

魚毒性 : LC50: > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

魚毒性 (慢性毒性) : > 1 mg/l

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 (長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

クエン酸:

魚毒性 : LC0 (Carassius auratus (金魚)): 625 mg/l

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : LC100 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 85 mg/l

藻類に対する毒性 : EC0 (Scenedesmus quadricauda (緑藻)): 640 mg/l

細菌に対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): >
10,000 mg/l
曝露時間: 16 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 (長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 70.7 mg/l
曝露時間: 96 h

LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギルサンフィッシュ)): >
97.8 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 78.6 mg/l
曝露時間: 48 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 (急性) : 水生生物に毒性。

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

- 水生環境有害性(長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。
土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。
環境に関係する他の生物 : データなし

2-Methyl-4-isothiazolin-3-on, hydrochloride:

環境毒性アセスメント

- 水生環境有害性(急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。
水生環境有害性(長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

残留性・分解性

成分:

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

- 生分解性 : 生分解: 94 %
試験期間: 29 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301
備考: この製品の生分解性テストの結果によれば、すぐに生分解すると考えられます。

- 汚泥処理に対するインパクト : この製品は、前処理（生物学的処理場）なしに水中に放出してはならない。

生体蓄積性

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopyranosid:

- n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -3.67

クエン酸:

- n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -1.72

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

- n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -0.64

2-Methyl-4-isothiazolin-3-on, hydrochloride:

- n-オクタノール／水分配係数 : 備考: 非該当

土壌中の移動性

データなし

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

成分:

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

生態系に関する追加情報 : データなし

Control X-Y

生態毒性

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

魚毒性 : LC50: > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

魚毒性 (慢性毒性) : > 1 mg/l

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 (長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

クエン酸:

魚毒性 : LC0 (Carassius auratus (金魚)): 625 mg/l

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : LC100 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 85 mg/l
に対する毒性

藻類に対する毒性 : EC0 (Scenedesmus quadricauda (緑藻)): 640 mg/l

細菌に対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): >
10,000 mg/l
曝露時間: 16 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 (長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

環境に関係する他の生物 : データなし

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 70.7 mg/l
曝露時間: 96 h

LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギルサンフィッシュ)): >
97.8 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 78.6 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性(急性) : 水生生物に毒性。

水生環境有害性(長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

2-Methyl-4-isothiazolin-3-on, hydrochloride:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性(急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性(長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

残留性・分解性

成分:

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

生分解性 : 生分解: 94 %
試験期間: 29 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301
備考: この製品の生分解性テストの結果によれば、すぐに生分解すると考えられます。

汚泥処理に対するインパクト : この製品は、前処理（生物学的処理場）なしに水中に放出してはならない。

生体蓄積性

成分:

2-beta-D-Fructofuranosyl-alpha-D-glucopuranosid:

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -3.67

クエン酸:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -1.72

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -0.64

2-Methyl-4-isothiazolin-3-on, hydrochloride:

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: 非該当

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

成分:

1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone:

生態系に関する追加情報 : データなし

Microtiter plate

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。
現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた
廃棄物処理業者に委託する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)
危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)
危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)
危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には不適用。

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

15. 適用法令

Buffer for ELISA / Incubation buffer

関連法規

消防法
危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
フェノール	62

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物
非該当

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに従わない

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

PAK<->R-IGG (DET)

AICS : インベントリーに従わない

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

IECSC : インベントリーに従わない

Conjugate Dilution buffer

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV	: インベントリーに記載されているか、従っている
DSL	: この製品の全成分は、カナダ DSL リストに載っている
AICS	: インベントリーに記載されているか、従っている
NZIoC	: インベントリーに記載されているか、従っている
ENCS	: インベントリーに従わない
ISHL	: インベントリーに従わない
KECI	: インベントリーに記載されているか、従っている
PICCS	: インベントリーに記載されているか、従っている
IECSC	: インベントリーに記載されているか、従っている

Biotin conjugate

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
フェノール	62

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに従わない

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

PAK<->R-IGG (DET)

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

MAB / PAB

AICS	: インベントリーに従わない
NZIoC	: インベントリーに記載されているか、従っている
ENCS	: インベントリーに従わない
ISHL	: インベントリーに従わない
KECI	: インベントリーに従わない
PICCS	: インベントリーに従わない
IECSC	: インベントリーに従わない

Dig conjugate

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
フェノール	62

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに従わない

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

PAK<->R-IGG (DET)
MAB / PAB

AICS : インベントリーに従わない

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

NZIoC	:	インベントリーに記載されているか、従っている
ENCS	:	インベントリーに従わない
ISHL	:	インベントリーに従わない
KECI	:	インベントリーに従わない
PICCS	:	インベントリーに従わない
IECSC	:	インベントリーに従わない

Washing Buffer (10x)

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに従わない

DSL : この製品の全成分は、カナダ DSL リストに載っている

AICS : インベントリーに従わない

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに記載されているか、従っている

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

Dig POD conjugate

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量 (%)
鉄水溶性塩	352	>=1 - <10

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条（施行令第18条）

化学名	番号
鉄水溶性塩	352

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに従わない

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

MAB / PAB

PAK<->R-IGG (DET)

1, 5-ジメチル-2-フェニル-4-
-ジメチルアミノ-3-ピラゾロン 58-15-1

AICS : インベントリーに従わない

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

IECSC : インベントリーに従わない

TMB substrate solution

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
メタノール	90

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量 (%)
メタノール	560	>=0.1 - <1

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
メタノール	36

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに従わない

DSL : この製品には、カナダ NDSL リストに載っている以下の構成要素が含まれている。その他の構成要素は、カナダ DSL リストに載っている。

hydrogen peroxide--urea 124-43-6

AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

KECI : インベントリーに従わない
PICCS : インベントリーに従わない
IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

Stop reagent

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2（施行令別表第9）

化学名	番号	含有量 (%)
硫酸	613	>=1 - <10

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条（施行令第18条）

化学名	番号
硫酸	613

特定化学物質障害予防規則 - 第三類物質

化学名
硫酸

鉛中毒予防規則

非該当

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに記載されているか、従っている

DSL : この製品の全成分は、カナダ DSL リストに載っている

AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

NZIoC : インベントリーに従わない

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに記載されているか、従っている

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

Standard A-F

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに記載されているか、従っている

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

Bovine Serum Albumin	94349-60-7
1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone	822-89-9
Collagenase	9001-12-1
Thermoase Crystallin Concentrate	9073-78-3

AICS : インベントリーに従わない

NZIoC : インベントリーに従わない

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

IECSC : インベントリーに従わない

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

Control X-Y

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに記載されているか、従っている

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

Bovine Serum Albumin	94349-60-7
1-Hydroxy-2(1H)-Pyridinone	822-89-9
Collagenase	9001-12-1
Thermoase Crystallin Concentrate	9073-78-3

AICS : インベントリーに従わない

NZIoC : インベントリーに従わない

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

IECSC : インベントリーに従わない

Microtiter plate

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに従わない

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

Streptavidin 9013-20-1

AICS : インベントリーに従わない

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

Buffer for ELISA / Incubation buffer

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

Conjugate Dilution buffer

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

Biotin conjugate

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

Dig conjugate

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

Washing Buffer (10x)

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

Dig POD conjugate

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

TMB substrate solution

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

:



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

注意書き

:

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置:

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

Stop reagent

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: H315 皮膚刺激。
H319 強い眼刺激。
H332 吸入すると有害。
H371 臓器（呼吸器系）の障害のおそれ
H373 長期にわたる，又は反復ばく露により臓器（呼吸器系）の障害のおそれ

注意書き

: **安全対策:**

P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

P280 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

Standard A-F

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激。
H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

注意書き

: **安全対策:**

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P280 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。

P284 (換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。

応急措置:

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

P342 + P311 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄:

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

Control X-Y

GHS ラベル要素

安全データシート

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/18

絵表示又はシンボル

:



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激。
H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

注意書き

:

安全対策:

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P280 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。

P284 (換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。

応急措置:

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

P342 + P311 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄:

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

Microtiter plate

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

Residual Protein Liberase Kit

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/01

前回作成改訂日:-
初回作成日: 2016/05/18

16. その他の情報

その他の略語の全文

AIGS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に規定のない限り; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 米国; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 1511